

7-1 文化・芸術・スポーツを区民目線で活性化！

【新】・・・新規事業

北区ゆかりの文化資源の活用・発信を強化

事業名	予算額
(1) 新一万円札発行カウントダウンプロジェクトの推進	(1) 17,256千円
(2) (仮称) 芥川龍之介記念館の整備【新】	(2) 246,140千円

ここがポイント！

- (1) 新一万円札発行カウントダウンプロジェクトの推進
- ☛ 新一万円札発行の機会を捉えて、クラウドファンディング、プロジェクトマップ、国際交流など新たな取組みに挑戦
- (2) (仮称) 芥川龍之介記念館の整備
- ☛ 日本初、世界初、文豪・芥川龍之介を単独で顕彰する記念館の建設に着手
 - ☛ 芥川ファンに向けたクラウドファンディングを実施

事業概要

(1) 新一万円札発行カウントダウンプロジェクトの推進

- ▷ 新一万円札発行に向けて区内の機運醸成はもちろん、全国、世界へ向けて北区をPRするとともに、この機を捉えて、区民参加型のイベントなど新たな取組みに挑戦する。
- ▷ 新一万円札発行後を見据え、継続的な渋沢栄一翁を核としたシティプロモーションを推進するため、公民連携の取組みや区への往来・区内回遊性の確立、産業活性化など、更なる北区の発展につながる取組みを実施する。

(2) (仮称) 芥川龍之介記念館の整備

- ▷ 記念館の外観は旧家を想起させる造りなど、芥川龍之介の旧居跡という唯一無二の土地の記憶を最大限に活かす。
- ▷ 立ち入り、触れることができる書齋をできる限り忠実に再現し、芥川龍之介の生きた時代、創作を支えた雰囲気「体感 (feel)」できる施設とする。
- ▷ 令和6年度着工、令和8年度の開館を目標。
- ▷ 令和6年4月クラウドファンディング開始予定。
- ▷ クラウドファンディング
展示に関する資料を充実させるためのクラウドファンディングを実施する。

7-1 文化・芸術・スポーツを区民目線で活性化！

- クラウドファンディング返礼品予定
 - 学芸員説明付き田端文士村記念館内及び関連地案内（直筆資料閲覧付き）
 - （仮称）芥川龍之介記念館建設用地見学会
 - 学芸員とともに芥川龍之介の墓参、芥川龍之介関連イベントで優待ほか



【(1) の担当】

しごと連携担当課長

電話 03-3908-1226

【(2) の担当】

地域振興部副参事

電話 03-5390-1291

7-2 文化・芸術・スポーツを区民目線で活性化！

【新】・・・新規事業

豊かな感性を育む文化・芸術の振興

事業名	予算額
(1) 北区名誉区民 奥山峰石氏の「米寿展」開催を支援【新】	(1) 3,000千円
(2) 中里貝塚史跡広場の整備【新】	(2) 141,446千円

ここがポイント！

- (1) 北区名誉区民 奥山峰石氏の「米寿展」開催を支援
- ☛ 北区名誉区民であり、東京都名誉都民、人間国宝でもある鍛金家の奥山峰石氏の「米寿展」を開催する予定
 - ☛ 区と同氏の故郷である山形県新庄市が所有する作品を主とした「米寿展」に向けた支援を行う
- (2) 中里貝塚史跡広場の整備
- ☛ 国指定史跡中里貝塚を、「マチナカで出会う縄文文化―史跡が拓く新たな未来―」をテーマに、よりわかりやすく、親しみを持てるように整備
 - ☛ 貝塚の標本や解説パネル・地形模型の設置、休憩施設・トイレやベンチなどを整備

事業概要

(1) 北区名誉区民 奥山峰石氏の「米寿展」開催を支援

- ▷ 「米寿展」の開催は令和7年度（会期約1か月）を予定。会場は、飛鳥山博物館特別展示室・講堂で、これまでに同氏が制作した作品約80点を展示する予定。
- ▷ 鍛金家として独立して以降50年以上を過ごしている北区と、令和7年に開府400年を迎える同氏の故郷である山形県新庄市とリレー形式での開催を検討している。



(2) 中里貝塚史跡広場の整備

- ▷ 国史跡に指定された中里貝塚を後世に残すため適切に保存し、その重要性を広く周知するとともに、生涯学習や学校教育に活用していくために指定地の整備を行う。

7-2 文化・芸術・スポーツを区民目線で活性化！

- ▷ 令和2年度に策定した「史跡中里貝塚整備基本計画」をもとに、令和4年度に具体的な整備基本設計を作成し、令和5年度には実施設計を作成した。
- ▷ 令和6年度から令和8年度にかけて整備工事を行い、オープン後の活用のため、ARやVRなどのソフトウェア準備を並行して進める。



【(1) の担当】

総務課長

電話 03-3908-8623

【(2) の担当】

飛鳥山博物館長

電話 03-3916-1133

7-3 文化・芸術・スポーツを区民目線で活性化！

【新】・・・新規事業

トップアスリートのまち・北区を推進

事業名	予算額
(1) 国際競技大会等関連イベント推進【新】	(1) 1,650千円
(2) スポーツコンダクター派遣を拡充	(2) 1,000千円

ここがポイント！

- (1) 国際競技大会等関連イベント推進
 - 👍 2024年7月～9月にパリオリンピック・パラリンピック競技大会、2025年9月は東京2025世界陸上競技選手権大会、11月に東京2025デフリンピック競技大会が開催される
 - 👍 北区スポーツ大使や北区ゆかりのアスリートと連携し、区民が地元の選手を応援する気運を高める
 - 👍 スポーツの力で地域の活性化及びスポーツに触れる機会を創出
- (2) スポーツコンダクター派遣を拡充
 - 👍 学校や各団体に世界で活躍したアスリートが出向き、講演や実演を行い、「スポーツの力」を肌で感じる機会をこれまで以上に増やす

事業概要

(1)～(2)

- ▷ 経緯
 - 北区西が丘にはNTCなど国立のスポーツ施設があり、国際大会開催間近になるとアスリートが集結する特色がある。
 - 東京2020大会のレガシーの創出と活用を目指し、これまでも北区スポーツ大使や北区ゆかりのアスリートやスポーツコンダクターとともに様々な事業を実施してきた。
- ▷ 実施事業（予定も含む）
 - 国際競技大会の代表に選ばれた北区に関するアスリートの大会での活躍を応援するため壮行会等
 - 国際大会終了後報告会やトークショー
 - 世界陸上、デフリンピック開催1年前イベント等
 - スポーツコンダクター派遣数を拡充する



FIFA 女子ワールドカップ
2023 パブリックビューイングの様子

7-3 文化・芸術・スポーツを区民目線で活性化！

▷ 今後の展開

- 本事業を通じて子どもから高齢者まで、障害の有無に関係なく、だれもがスポーツに触れ合える、関われる事業を展開する。
- アスリートと地域が密接な関係を構築することで、競技への理解促進や応援を活力にするなど、「スポーツの力」を通じて課題解決につなげる。

【担当】
スポーツ推進課長
電話 03-5390-1134